

## 試験研究評価シート（事前）

評価の種類	事前評価	担当名	製薬食品担当
課題名 (研究テーマ)	「いわゆる健康食品」中の医薬品成分の一斉分析法の検討	研究者名	(正) 小原 佑介 (副) 鈴江 健太
研究期間	令和4～5年度		
予算額 (千円)	令和4年度：505 令和5年度：505	予算種類	国補 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県単</span>
必要性	<p>近年、健康や美容に対する関心が高まるとともに、多種多様な「いわゆる健康食品」がインターネットやドラッグストア等で手軽に購入できるようになった。しかし、「いわゆる健康食品」の一部には効果を高める目的で医薬品成分を違法に添加した製品があり、それらの摂取による健康被害が報告されている。その中には、医薬品に匹敵する薬効や未知の生理活性（副作用）により重篤な健康被害が発生している事例がある。</p> <p>本県においても、平成14年に「中国製ダイエット用健康食品」による健康被害事例が発生したことから、「痩身用途の表示のある健康食品」について、痩身目的の医薬品成分（瀉下薬・食欲抑制薬・抗糖尿病薬・利尿薬・甲状腺ホルモン等）の定期検査を実施している。</p> <p>本研究では、近年の検出事例の実態をふまえ、流通している多種多様な形状の「いわゆる健康食品」を想定し、痩身目的の医薬品成分に加えて強壮目的の医薬品成分等の一斉分析法の検討を行う。これらの医薬品成分の一斉分析が可能になることで、違反品を早期に発見することができ、健康被害の未然防止に繋がる。また、健康被害が発生したときにこれらの検査を行うことで迅速な原因究明ができ、健康被害の拡大を防止することができる。</p>		
目標	「いわゆる健康食品」に添加されるおそれのある医薬品成分等の一斉分析法を検討し、流通している多種多様な形状の「いわゆる健康食品」の検査が迅速にできるようにする。		
研究内容	従来の痩身目的の医薬品成分だけでなく、強壮目的の医薬品成分も一斉に分析できる測定条件を検討し、多種多様な形状の「いわゆる健康食品」に適用できるスクリーニング分析法を構築する。また、医薬品成分の構造の一部を改変した構造をもつ成分が検出された場合の構造推定の方法を検討する。		
手法	<p>①液体クロマトグラフ/タンデム四重極質量分析計（LC/MS/MS）等を用いた強壮目的の医薬品成分の測定条件の検討</p> <p>②痩身目的の医薬品成分と強壮目的の医薬品成分の一斉分析法の検討</p> <p>③多種多様な形状の「いわゆる健康食品」において医薬品成分の添加回収試験を行い、微量分析や定量分析においても対応可能な測定方法の検討</p> <p>④実際に「いわゆる健康食品」の分析を実施</p>		
その他			